



群馬県立心臓血管センター

地域医療連携たより

No.
70

当センターは《地域医療支援病院》です。

群馬県立心臓血管センター

地域医療連携室

〒371-0004 群馬県前橋市亀泉町甲 3-12

TEL:027-269-7455 (内線 2040・2043) / FAX:027-269-7286

URL: <https://www.cvc.pref.gunma.jp/>

目次

▶ 内藤院長より新年挨拶

▶ 河口室長より新年挨拶

▶ ミニレクチャー

「心房細動だけじゃない？ 潜在性脳梗塞の原因診断を深掘りする 一塞栓源となりうる心疾患あれこれ」

第91回群馬県立心臓血管センター症例検討会ミニレクチャーより 循環器内科第三部長 山下 英治

▶ 放射線課より／CT室増設のご案内

▶ 第16回登録医大会のご報告

▶ 令和6年1月度外来担当医一覧表

明けましておめでとうございます

旧年中は大変お世話になりました本年も何卒よろしくお願い申し上げます



令和6年1月発行



旧年中は格別のご厚情を賜り、
誠にありがとうございました。
本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

院長 内藤 滋人より新年のご挨拶

令和6年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、群馬県立心臓血管センターとの地域医療連携におきまして、患者さんの紹介、逆紹介に多大なるご協力をいただき大変ありがとうございました。

心臓血管センターは平成19年より、地域医療支援病院として病診・病病連携を推進しております。令和5年までの間に、登録医師数、医療機関は着実に増加し、現在664名の登録医の先生方および522の医療機関と連携していただいております。日頃のご支援に重ねて感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスが5類へ移行したものの、その後の第9波は想定以上に大きく、まだコロナ前の日常が取り戻

せない状況でありました。そんな中で、症例検討会や院外講師による学術講演会などを、Webを通じて皆様に届けさせていただきました。さらに10月には、4年ぶりに登録医大会を対面で行うことができ、登録医の先生方と深い交流ができたと同時に、最新医療を紹介させていただきました。本年も先生方から好評をいただいておりますWebも併用して、皆様に最新情報をお伝えたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

当センターの特色を改めてご紹介しますと、臨床面では、①虚血部門は、急性冠症候群に対する冠動脈形成術を筆頭に様々な治療を、24時間体制で安全かつ確実に実施しています。②不整脈部門は、感染リ

ド抜去および左心耳閉鎖デバイスを推進するとともに、全国トップレベルのカテーテルアブレーション数を誇っています。③心臓血管部門は、冠動脈バイパス手術、大動脈疾患、弁膜症等に対する手術のほか、低侵襲心臓手術や先進的な治療（植込型補助人工心臓治療等）に取り組み、特に大動脈解離の手術は県内最後の砦となっています。④各部門を超えて、ハイブリッド手術室を活用し、複数診療科と多職種で構成する専門チームにより、透視患者さんを含めた経皮的動脈弁置換術(TAVR)や経皮的僧帽弁クリップなどの最先端医療を安全かつ確実に提供しています。

昨年は記録的な猛暑となりました。また本年もwithコロナでの診療になると思います。

ですので、登録医の先生方におかれましては、くれぐれもご自愛いただきたく思います。本年も地域連携・入退院センターをさらに充実させ、登録医の先生方との連携をさらにスムーズかつ親密にしていきたいと考えております。また登録医の先生方限定の予約紹介専用の電話回線を設けさせていただいておりますので(027-212-3018)、今後ともご活用いただきたく存じます。

心臓血管センターは、本年も職員一丸となって感染対策を徹底しながら最先端医療を提供していく所存であります。昨年に増しての病診・病病連携を宜しくお願い申し上げます。結びに、登録医の先生方の益々のご発展を祈念しまして、令和6年年頭の挨拶とさせていただきます。

ないとう しげと
内藤 滋人

群馬県立心臓血管センター
院長

- ・日本内科学会認定医
- ・日本循環器学会専門医
- ・日本不整脈学会専門医
- ・ICD 認定医
- ・CRT 認定医

外来診療日
月・火・水・木・金

※詳細は外来担当医一覧を
ご参照ください。

明けましておめでとうございます

令和六年 辰年

地域医療連携室長 河口 廉より新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は当センターの医療連携にご協力を賜り誠にありがとうございました。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

令和5年は新型コロナウイルス感染症第8波の中で年明けとなりましたが、その後、新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日より感染症法上5類に移行されました。それを受け、当院でも10月には4年ぶりに対面での登録医大会を開催し、多くの登録医の先生方にご参加いただき、有意義な時間を過ごさせていただきました。

未だ、完全にコロナ禍以前の状況には戻ってはおりませんが、このまま静かに収束に向かつていくことを期待しております。

当センターでは引き続き県内の循環器疾患の最後の砦として、また、最新の循環器治療を継続提供できるよう職員一同一丸となって取り組んでおります。地域医療連携室では、それらの技術を医療連携を通して先生方の診療の一つのオプションとして利用いただき、より多くの患者さんにお役立ていただき先生方とともに地域医療に貢献できるよう対応してまいります。心・血管疾患の精査、加療が必要な患者さんがいらつしやいましたらご紹介いたします。速やかに精査加療を行い、可能な限り早期に逆紹介をさせていただきます。また、定期フォローが必要な患者さんにつきましては先生方と併診させていただきます。

なお、緊急症例につきまして

は、従来通り24時間心疾患救急医療体制を継続してまいりますので、緊急対応が必要な際にはいつでもご連絡ください。

また、地域医療連携室では先生方への当センター診療体制に関する情報提供、紹介患者に関する情報提供、その他の医療連携業務を行っております。コロナ禍のため症例検討会、学術講演会はZOOMを用いたハイブリッド方式での開催を行ってまいりましたが、これらのZOOMを用いた会は、忙しい先生方から好評もいただいております。このようなデジタル化がコロナ禍を契機に様々な場面で進展したのはコロナ禍で生まれた数少ない、好ましい産物であり、今後もハイブリッド方式は継続してまいりますがお時間が許せば、会場に足をお

運びいただければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつある一方で、世界のあちこちで勃発している紛争や、それらに伴う物価の上昇、様々な物資の供給障害、さらには本年より開始される医師の働き方改革等、医療にかかわるいくつもの課題が山積しておりますが、今後どのような状況下においても職員が一丸となり勇往邁進し、地域支援病院としての役割が果たせるように努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆となりましたが、先生方のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も引き続き当センターの医療連携にご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



かわぐち れん
河口 廉

群馬県立心臓血管センター
医療局長
循環器内科第一部長
地域医療連携室長

- ・日本内科学会認定医
- ・日本循環器学会専門医
- ・日本心血管インターベンション治療学会専門医
- ・胸部ステントグラフト指導医
- ・腹部ステントグラフト指導医
- ・浅大腿大動脈ステントグラフト実施医
- ・経カテーテル的大動脈弁置換術指導医
- ・経皮的心房中隔欠損閉鎖術認定医

外来診療日
月・火・金

※詳細は外来担当医一覧を
ご参照ください。

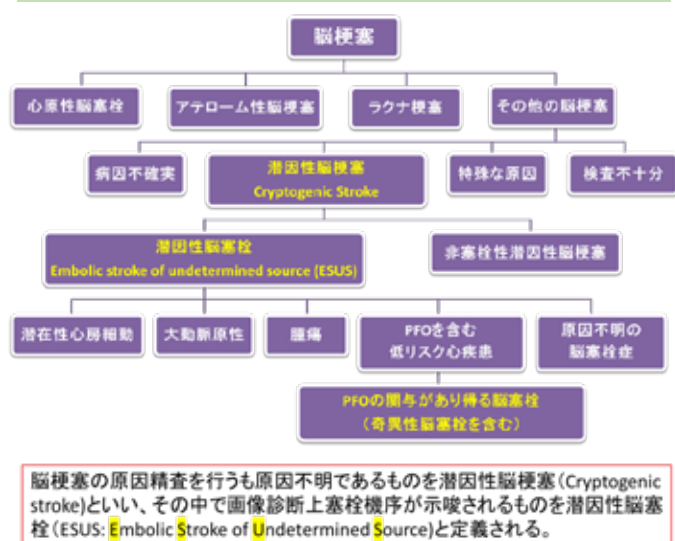
心房細動だけじゃない？ 潜在性脳梗塞の原因診断を深掘りする

— 塞栓源となりうる心疾患あれこれ —

» 循環器内科第三部長 山下 英治

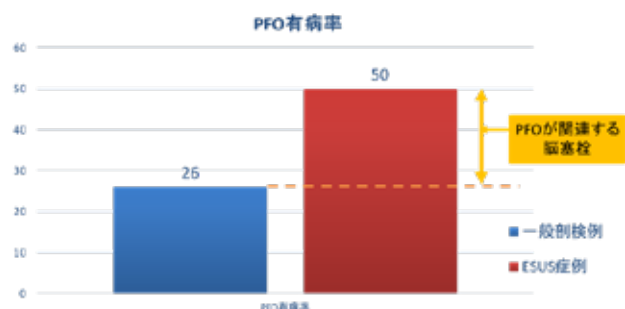
脳血管疾患は現在の日本人の死因の中で悪性新生物・心疾患に続いて第三位（老衰除く）であり、その約7割が脳梗塞です。脳梗塞の原因として、心原性、アテローム性、ラクナ梗塞が一般的で脳梗塞の約75%を占めますが、残り25%は特殊な原因を含む原因不明のものです。原因不明の脳梗塞（Cryptogenic stroke: 潜在性脳梗塞）の内、画像診断上塞栓機序を疑うものを潜在性脳塞栓（ESUS: Embolic stroke of undetermined source）と定義されます。

潜在性脳梗塞(Cryptogenic Stroke)とESUS



ESUS の原因として・潜在性心房細動・心臓腫瘍・大動脈原性・卵円孔開存症(PFO)に伴う奇異性脳塞栓などが鑑別診断としてあげられ、この診断に当たっては経食道心エコー検査(TEE)が不可欠です。ESUS 原因診断の中で最も頻度が高く重要なのはPFOとPAFです。特にPFOはESUS患者の50%に検出されます。

ESUS患者の約50%にPFO

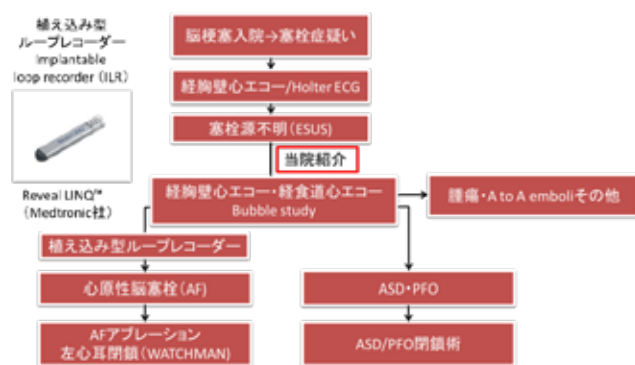


潜在性脳梗塞に対する経皮的卵円孔開存閉鎖術の手引き 第2版
Perera et al. JAMA neurology 2022

外来に ESUS 精査で紹介された患者さんに対しては経胸壁心エコー検査(TTE)およびTEEでのバブルテストでPFOに伴うバブルの右左短絡の有無を検査します。PFOが検出され、

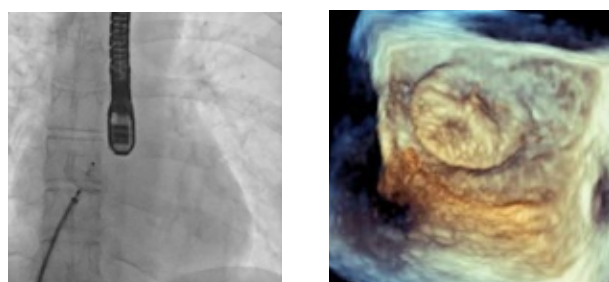
奇異性脳塞栓リスクが高い症例に対して経カテーテルPFO閉鎖術を施行します。術後6ヶ月間病態に応じて抗血栓療法を施行します。当院では2020年9月から2023年11月までで24例PFO閉鎖を実施していますが、重篤な合併症なく退院され閉鎖術後患者の脳梗塞再発は現在のところ1例もありません。TTE/TEEの結果でPFO含めた塞栓源が見つからない場合には潜在性心房細動の可能性を疑い、植え込み型ループレコーダー(Implantable loop recorder: ILR)を留置してPAFの検出を図ります。当院では今のところESUS精査目的に10例ILR留置しそのうち3例PAFを検出、それらの症例は心房細動アブレーションを施行し良好な結果が得られています。

PFO検索の紹介タイミング・当院のESUS診断



ESUS 精査で TTE/TEE で他疾患除外後に ILR 留置症例
30%で PAF(+)

PFO閉鎖



PFO/PAF 以外に ESUS の塞栓源となりうる疾患として PFO 以外の短絡疾患（心房中隔欠損症・肺動静脈瘻）・左室内血栓・血栓弁・心臓腫瘍（粘液腫・ランブル疣贅・乳頭状弾性線維腫）・感染性心内膜炎および非細菌性血栓性心内膜炎（トルソー症候群・Libman-Sacks 心内膜炎）・下行大動脈粥腫などがあげられます。

ESUS の診断・治療は循環器診療の総合力が試される領域です。もし原因不明の脳塞栓患者でかかりつけ医に戻されている方がいらっしゃればいつでもご紹介ください。

放射線課より CT室増設のご案内

01. 第2X線CT室の増設!!

当センターは、2023年11月2日よりX線CT装置（シーメンス社製 SOMATOM go.Top）を増設いたしました。

CT検査においては、近年増加傾向にあるなか、地域の皆様からの依頼に十分な対応ができない現状を重く受け止め、利便性と効率性の向上を目的に今般の導入に至ったところであります。

引き続き、地域の中核医療機関としての使命を果たすべく、予約検査はもとより緊急事案も含め、十分対応できるよう努めてまいります。

02. 第2X線CT装置の概要!!

当該装置は、X線検出器 64 列でありながらコンパクトな外観となっています。

特に、ガントリー部分（円形トンネル状の部分：X線を発生させる管球と X線検出器で構成されている。）は開口径が 70cm と広く、圧迫感を感じさせない造りになっています。

一方、検査時間においては、高速撮影（0.33 回転/秒）を可能としており、短時間の検査を実現しています。

この他、検査室内においては、落ち着いて安全な検査が受けられるようモダンな色調空間を演出しており、被検者に優しい雰囲気づくりに努めています。

03. 被ばく低減技術・アーチファクト低減による画質の最適化!!

被検者の年齢や体型、症状等の特性に応じた低侵襲医療を可能にしています。

当該装置は、無駄な放射線被ばく（X線低エネルギー成分）を大幅にカットし、フィルター機能（Tin filter technology）との併用により、低線量かつ高画質な検査を提供しています。

特に、肋骨や肩等の骨から発生するアーチファクトを効果的に抑制できることから、整形領域のルーチン検査から消化器領域、救急領域等の高度検査まで幅広く対応できます。

また、被検者の体格に合わせ、造影剤使用量の低減をも可能にしており、最適な画像再構成を自動的に行うことができます。

04. 被検者に寄り添った新しい検査ワークフロー!!

モバイルを用いたワークフローにより、被検者に寄り添った効率的で快適な検査環境を提供します。当該装置は、被検者の傍でタブレット端末やリモートコントローラーを用いて、撮影から画像確認まで一連の操作を検査室内で行うことができます。

検査中は被検者から目を離すことなく、寄り添った状態で検査できることから、介助の必要性や急変等が予測される検査においては、効率的かつ安全に進めることができます。



第2X線CT操作室と被検者観察モニター



第2X線CT検査室ガントリーと操作用タブレット端末



第2X線CT検査室内

第16回 登録医大会のご報告

令和5年10月12日（木）、群馬ロイヤルホテルにて第16回登録医大会を4年ぶりに対面で開催いたしました。たくさんの登録医の先生方のご出席を賜り、誠にありがとうございました。

日頃お世話になっている登録医の先生方と直接に懇談できる貴重な機会となりました。来年度も同時期に開催を予定しておりますので、多くの先生方にご出席いただければ幸いです。

今後とも当センターの地域医療連携にご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



群馬県立心臓血管センター 外来担当医一覧表

※業務都合等で変更となる場合もありますので、確認のうえご連絡ください。 令和6年1月1日 現在

診療科					医師名		月	火	水	木	金	診療科				医師名		月	火	水	木	金
循環器内科	虚血性心疾患門	午前	かわぐち 河 口 廉	●	●				●	心臓血管外科 ※午後の診療は 受付12:30～ (急患を除く)	午前午後	えづれ 江 連 まさひこ 雅 彦		第1	第1 除く	←9:00～						
			くりばら 栗 原 じゅん 淳	●			●		やまだ 山 田 やすゆき 靖 之					第1,2								
			や の ひでき 矢 野 秀 樹			●	●		ほしの 星 野 じょうじ 丈 二					午後								
			け み ゆうた 毛 見 勇 太		●				おかだ 岡 田 しゅういち 修 一			午前	午前	第3第4 10:00～	午前	午前						
			すがの こうた 菅 野 幸 太					●	もりした ひろゆき 森 下 寛 之						午前							
			きのした さとし 木 下 聡			●			かねこ たつお 金 子 達 夫					午後								
			いしやま たく 石 や 山 卓					第2,4	下肢静脈瘤				はせがわ ゆたか 長 谷 川 豊			午後	午後					
			おおしま しげる 大 島 茂			●	●						すずき じゅんこ 鈴 木 純 子	●			●					
			ほしざき 星 崎 ひろし 洋		●			●	外科 消化器外科				すとう としなが 須 藤 利 永		●	●		●				
			とやま たくじ 外 山 卓 二			第2,4 除く		すずき 鈴 木 ひでき 秀 喜					●	●		●	●					
	不整脈門	午前	ないとう しげと 内 藤 滋 人	●	●	●	●	●	整形外科	午前	はま の りたか 濱 野 哲 敬	●	●	●		●						
			なかむら こうき 中 村 絃 規				●				ありた さとる 有 田 寛			●								
			み き ゆうこ 三 樹 祐 子	●							あだち ひとし 安 達 仁			●								
			ごとう こうじ 後 藤 貢 士	●				●	糖 尿 病	午前	や の ひでき 矢 野 秀 樹	●										
			さ さ き たけひと 佐 々 木 健 人					●			やました えいじ 山 下 英 治	●										
			かせの けんいち 紘 野 健 一		●				閉 塞 性 動 脈 硬 化 症	午前	やました えいじ 山 下 英 治		●				第2,4					
			よしむら しんご 吉 村 真 吾					●			あだち ひとし 安 達 仁			●								
			あだち ひとし 安 達 仁	午後	●		●		弁膜症・ 肺高血圧症・ 成人先天性 心疾患	午後	ないとう しげと 内 藤 滋 人				第2	第2						
			ほしの けいじ 星 野 圭 治			午前					み き ゆうこ 三 樹 祐 子					第1,3						
			新患者 外来		循環器内科 担 当 医	午前8時30分～11時					ペースメーカー	午後	よしむら しんご 吉 村 真 吾					第1,3				
	●	●				●	●	●	うぶかた さとし 生 方 聡							第4						
	診療科					医師名		月	火	水	木	金	診療科				医師名		月	火	水	木

1 受付時間は、午前8時30分～11時までです。
なお、予約再来の方は、午前8時15分から受付いたします。

【外来休診日】
土曜、日曜、祝日
年末年始(12/29～1/3)

2 紹介状持参の患者さんは、初診・再来にかかわらず、総合受付6番(地域医療連携窓口)で受付いたします。

3 当院は「紹介型外来」を行っており、紹介状持参の患者さんを優先して診療いたします。
地域医療連携室では、先生方から事前に患者情報を御連絡いただいたうえで、診察日時を予約いたします。FAX用診察申込書またはFAX用検査予約申込書《MRI・CT・シンチグラム・骨密度(DXA法)》を御利用ください。
円滑に診療を進めるためにも、事前予約を御活用ください。
なお、午後5時以降、または休診日にお

送りいただいたFAXへの対応は、翌日または休診日明けとなります。
あらかじめ、ご了承ください。

患者さんの待ち時間を少なくするために、御協力をお願い致します。